

引き戸用 一般編

保管用

保証書別添

寺岡自動ドア

取扱説明書

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお、ご使用前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。



• 図はイメージです。

もくじ


安全のために必ず守ること	2
ご使用前に知っておいていただきたいこと	4
各部のなまえとはたらき	5
基本操作と日常点検	8
日常のご使用について	10
お手入れ	12
故障かなと思ったら	14
お客様へのお願い	15
保証とアフターサービス	16
保証について	16
アフターサービスについて	16

安全のために必ず守ること






ご利用になられるかたへの危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



 **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの

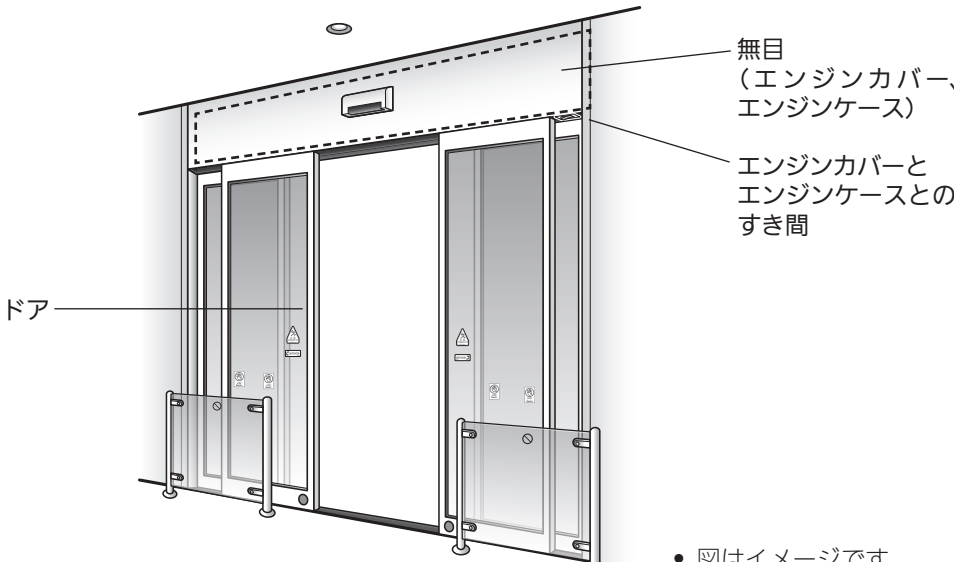
 **注意** 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

■ “図記号”の意味は次のとおりです。




	禁止		分解禁止		水かけ禁止
	指示に従う		はさまれ注意		

 **警告**

	<ul style="list-style-type: none"> 閉まっているドアに衝突しない。けがの原因になります。 		<ul style="list-style-type: none"> エンジンケースとカバーとのすき間に棒や金属などを差し込まない。感電・けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 閉まりかけているドアに飛び込まない。けがの原因になります。 		<ul style="list-style-type: none"> エンジンカバーを開けない。感電・けがの原因になります。



• 図はイメージです。

	<ul style="list-style-type: none"> 機器の改造はしない。感電・けがの原因になります。 		<ul style="list-style-type: none"> 異常時（こげ臭いなど）は運転を停止して電源を切る。火災・感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> お手入れの際は必ず電源を切る。感電・けがの原因になります。 		<ul style="list-style-type: none"> 移動再据付け・修理する場合は、販売店または施工店に相談する。けがの原因になります。

⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> • ドアの開閉範囲で立ち止まらない。 けがの原因になります。 	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> • お手入れの際は不安定な台の上に乗らない。 転倒によるけがの原因になります。 ※手が届かない場合は脚立を使ってください。 	
	<ul style="list-style-type: none"> • 開閉しているドアに手を触れない。 けがの原因になります。 		 水かけ禁止	<ul style="list-style-type: none"> • エンジン（モーターなど）やセンサーやコントローラなどに水をかけない 感電・けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • ドアと方立や壁のすき間に手を入れない。 けがの原因になります。 	 指示に従う		<ul style="list-style-type: none"> • 機器の調整は、販売店または施工店に依頼する。 けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • ドア付近で子供を遊ばせない。 けがの原因になります。 			<ul style="list-style-type: none"> • お手入れの際は手袋を着用する。 けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • ドアの開閉中に電源を切らない。 けがの原因になります。 		<ul style="list-style-type: none"> • ドアの戸先や戸尻部分に手を入れない。 けがの原因になります。 	
	<ul style="list-style-type: none"> • ガイドレールに指を入れない。 けがの原因になります。 			
	<ul style="list-style-type: none"> • 強風など開閉が困難なときは自動運転はしない。 雨や雪が吹き込むと、屋内の汚損の原因になります。 			

■ メモ

- 自動ドアは、通行者の安全性の向上を目的に「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセットー安全性」（4 ページ）に基づき設置されています。
 - 自動ドアを安全にご使用いただくため、日常のお手入れ（12 ページ）を行ってください。
 - 不測の故障にならないために、販売店または施工店による定期的な点検（16 ページ）を受けてください。
 - 販売店または施工店との保守契約制度（16 ページ）がご利用いただけます。
- 自動ドアの電源を入切する際は、壁面などに設置されている自動ドア用の電源スイッチを操作してください。ただし、電源スイッチが設置されていない場合は、以下の注意事項に沿ってメンテナンス用電源スイッチを操作してください。

メンテナンス用電源スイッチについて

（5 ページ参照）

- 自動ドアには、メンテナンス用に一時的に運転を停止する電源スイッチが設けられています。
- メンテナンス用電源スイッチを操作する場合は、ドア付近に利用するかたがないか十分に注意し、動くドアに注意して操作してください。（操作中にドアが動くとけがの原因になります）
- メンテナンス用電源スイッチを操作した後は、必ず「入」にし、自動ドアが正しく動くことを確認してください。



安全のために必ず守ること つづき

ご使用前に知っておいていただきたいこと

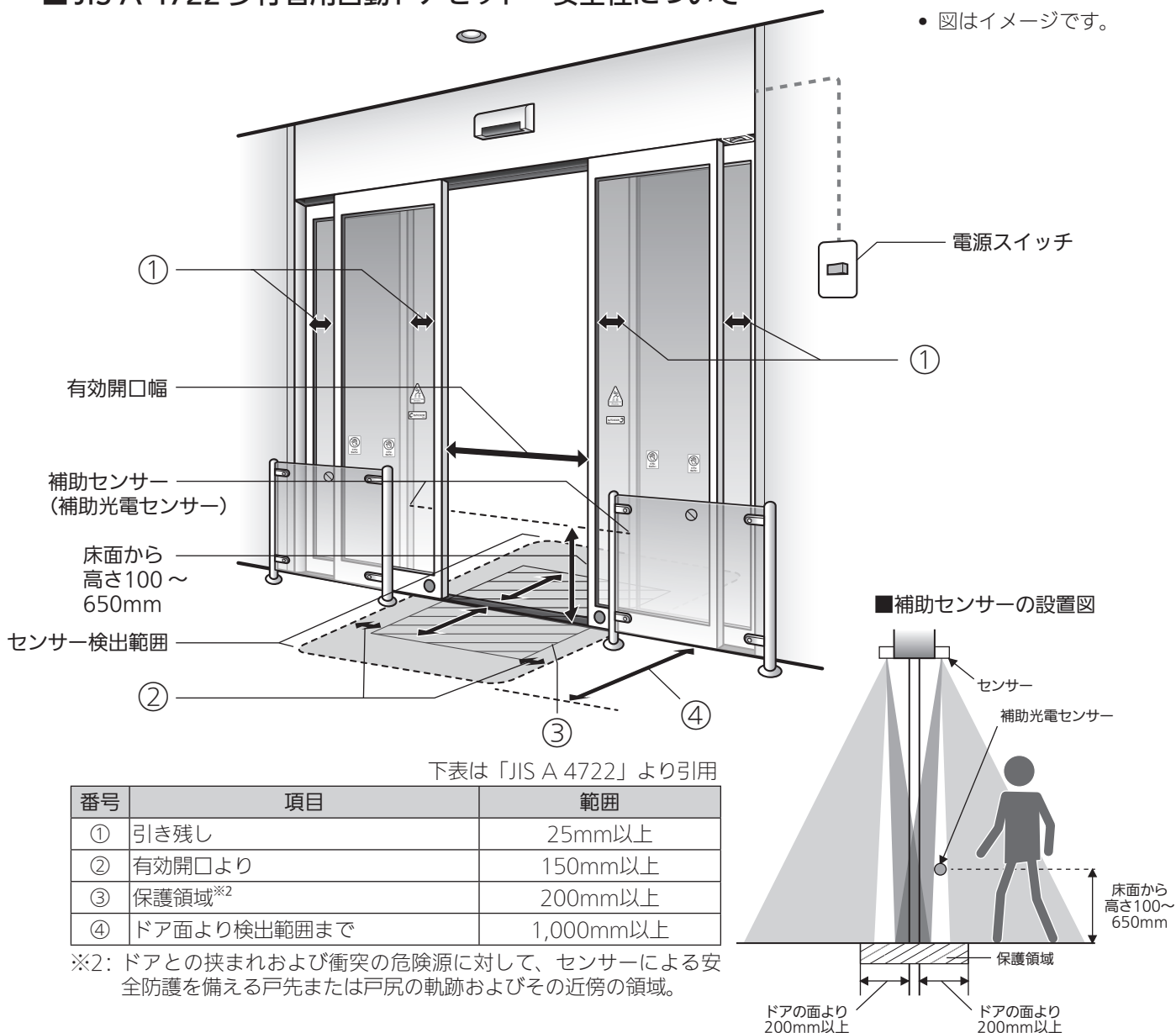
自動ドアのご使用に関しては、通行者の安全性の向上を目的に「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセットー安全性」が制定されています。

自動ドアの設置環境^{※1}に応じて、自動ドアを利用する通行者の安全性の確保をお願いします。

※1: 自動ドアの設置環境につきましては、販売店または施工店にお問い合わせください。

■ JIS A 4722 歩行者用自動ドアセットー安全性について

● 図はイメージです。



下表は「JIS A 4722」より引用

番号	項目	範囲
①	引き残し	25mm以上
②	有効開口より	150mm以上
③	保護領域 ^{※2}	200mm以上
④	ドア面より検出範囲まで	1,000mm以上

※2: ドアとの挟まれおよび衝突の危険源に対して、センサーによる安全防護を備える戸先または戸尻の軌跡およびその近傍の領域。

■ 自動ドアの開閉する速さ（開閉速度）および開いている時間（開放タイマー）について

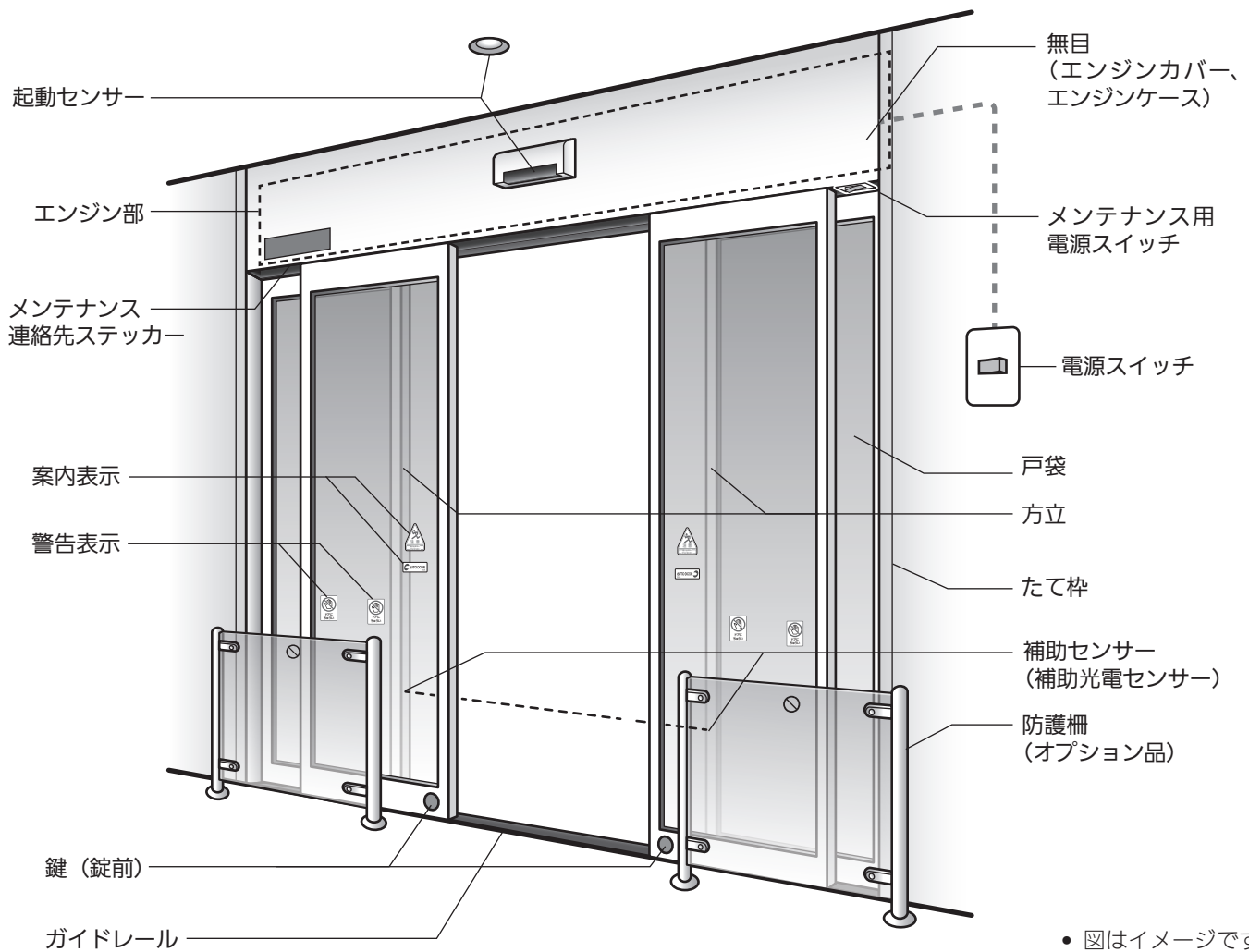
- お客様ご自身で設定の変更はできません。
- 「開閉速度」や「開放タイマー」を変更する場合は、販売店または施工店にご相談ください。

下表は「自動ドア安全ガイドライン」より引用

項目	店舗・オフィスビルなど	病院・公共施設など [※]
開き速度	500mm/秒以下	400mm/秒以下
閉じ速度	350mm/秒以下	250mm/秒以下
開放タイマー	1～5秒	可能な限り長く

※高齢者、障がい者、子どもなどが多く利用する場合の例です。

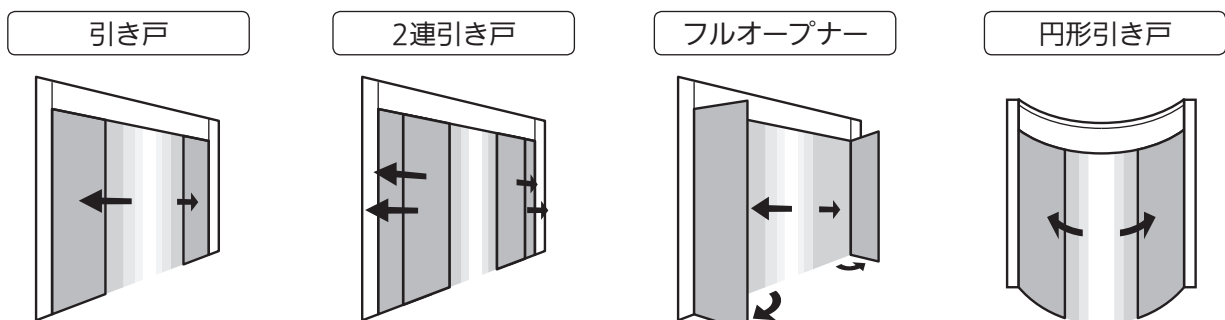
各部のなまえとはたらき



- 自動ドアは、「起動センサー」と「補助センサー」でドアを通過する人や物を検出し、「エンジン部」でドアを動かして開閉します。
- 各部の詳細については「センサー」(6 ページ)、「エンジン部」(7 ページ)、「鍵 (錠前)」(7 ページ) を参照してください。
- 自動ドアの操作方法については「基本操作」(8 ページ) を参照してください。
- 日常のご利用については「日常のご使用について」(10 ページ) を参照してください。
- 安全にお使いいただくために「お手入れ」(12 ページ) と「保証とアフターサービス」(16 ページ) を参照してください。
- 意図する環境条件の範囲は右記のとおりです。

温度	-20℃～+50℃
湿度	75%以下 (結露なきこと)
電磁界	周波数範囲が直流～400GHz

■ 自動ドアの種類



各部のなまえとはたらき つづき



センサー

自動ドアのセンサーには、人や物を検出してドアを開くための「起動センサー」と、通過中の人や物を検出してドアを閉じないようにする「補助センサー」があります。

- センサーの詳細についてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

■起動センサー



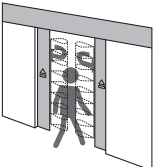
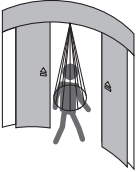
起動センサーには検出する方式で様々な種類があり、自動ドアが設置される環境に合わせて取り付けられています。以下はその一例です。

光線・熱線・電波方式		タッチ方式
天井取付 	無目取付 	ドア取付 
センサーの検出範囲で、光の反射や熱の変化、電波の反射を検出し、ドアを開きます。		タッチスイッチを押すと電波が送信され、受信部が電波を検出し、ドアを開きます。

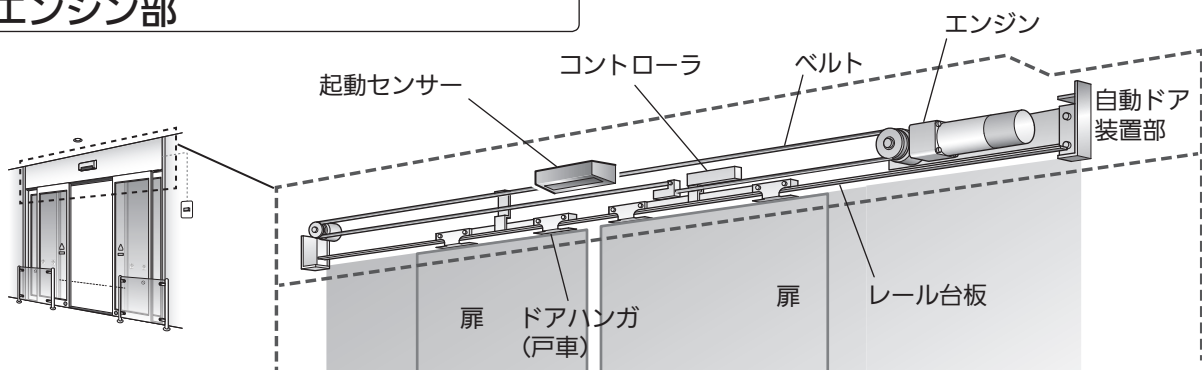
起動センサーには、上記例の他にボタンを使った「テンキースイッチ」や「押しボタンスイッチ」、足で踏んで起動する「フットスイッチ」や「足踏みスイッチ」などがあります。

■補助センサー

補助センサーは通過中の人や物を検出し、安全に通過できるまで通過中はドアが閉じないようにします。以下はその一例です。

光線方式 方立取付  補助光電センサー	光線・熱線方式 無目取付 
光線を遮光しているとドアは閉まりません。閉まる途中に検出するとドアは開きます。	センサーが検出する範囲の光線の反射や熱の変化を検出しているとドアは閉まりません。閉まる途中に検出するとドアは開きます。
静電方式 戸先取付 	超音波方式 無目取付 
戸先付近の静電量の変化を検出するとドアが開きます。閉まる途中に検出するとドアは開きます。	音波の反射を検出しているとドアは閉まりません。閉まる途中に検出するとドアは開きます。

エンジン部



(引き分け戸の一例)

【お願い】

- お客様ご自身でエンジンカバーを開けないでください。感電やけがなどの事故、装置の故障の原因になります。

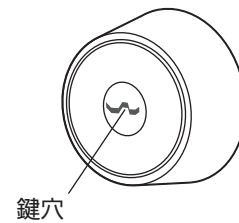
鍵（錠前）

シリンダー

鍵穴に鍵を差し込み、回して自動ドアを施錠／解錠します。

【お願い】

- シリンダーの鍵穴に異物を差し込まないでください。鍵（錠前）の故障の原因になります。
- 鍵はシリンダーに正しく差し込んでください。無理な角度で操作すると鍵（錠前）の変形や故障の原因になります。

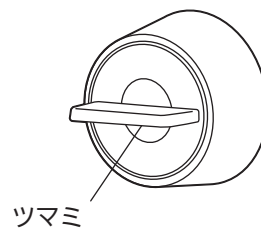


サムターン

主にシリンダーの反対側（室内側）にあり、ツマミを手で回して施錠／解錠します。

【ご注意】

- サッシメーカーなどによって取り付けられた鍵（錠前）は、アフターサービスの対象外製品となる場合があります。



基本操作と日常点検

電源スイッチを入れる前に

1. ドアの鍵（錠前）を解錠してください。
2. 自動ドアの電源を入れる前に、以下のことを確認してください。
 - 自動ドアの周囲にドアの開閉に障害となる物がないか、確認してください。
 - ドアの周囲やセンサーの検出範囲に人がいないか確認してください。
 - ドアが閉まっているか確認してください。
 - ドアのガイドレールに異物が入っていないか確認してください。

電源スイッチの入れ方

1. 自動ドアの電源スイッチを「入」にしてください。
センサーのランプが点灯します。
電源スイッチを入れてから数秒後に使用可能になります。
 - ドアが開いている状態で電源スイッチを「入」にすると、ドアがゆっくり閉まり、閉まった後に使用可能になります。ドアが閉まるまでセンサーの検出範囲に入らないでください。

<メモ>

 - ドアが閉まる途中で入ると自動ドアはゆっくり開きます。
 - 自動ドアの動きは、自動ドアの装置・機種や設定によって異なります。
2. 自動ドアが正常に開閉することを確認してください。
3. 補助センサーをさえぎり、正常に検出されてドアが閉まらないことを確認してください。

電源スイッチの切り方

1. 人が通行していないことを確認してください。
2. 自動ドアの電源スイッチを「切」にしてください。
センサーのランプが消灯します。

【お願い】

 - ドアの開閉中に電源スイッチを切らないでください。
ドアの開閉中に電源が切れると、センサーが人や物を検出できず、衝突してけがや事故の原因になります。
3. ドアが完全に閉まっていることを確認してください。
4. ドアに鍵（錠前）を施錠してください。

【お願い】

 - 長期間運転しない場合は、電源スイッチを「切」にしてください。

停電のときは

1. 電源スイッチを「切」にしてください。
2. 必要に応じて手動でドアを開閉してください。

【お願い】

- ドアを手動で開閉するときは、ドアの開閉方向以外に押さないでください。
強く押すとガラスが割れ、けがの原因になります。
 - ドアを手動で開閉するときは、方立やたて枠に指や手を挟まれないよう注意してください。
けがの原因になります。
3. 停電の復旧後は、ドアの周囲に異常がないか、人や物がなく安全であることを確認してから電源スイッチを「入」にしてください。
 4. 「電源スイッチの入れ方」を参照し、ドアが正常に開閉すること、補助センサーが正常に検出することを確認してください。

【お願い】

- 停電後、自動ドアの開閉に異常が見つかったときは、電源スイッチを「切」にして運転を停止してください。

- 自動ドアの電源を入切する際は、壁面などに設置されている自動ドア用の電源スイッチを操作してください。ただし、電源スイッチが設置されていない場合は、以下の注意事項に沿ってメンテナンス用電源スイッチを操作してください。

メンテナンス用電源スイッチについて

- メンテナンス用電源スイッチを操作する場合は、ドア付近に利用するかたがないか十分に注意し、動くドアに注意して操作してください。
(操作中にドアが動くとけがの原因になります)
- メンテナンス用電源スイッチを操作した後は、必ず「入」にし、自動ドアが正しく動くことを確認してください。


故障かなと思ったら

- 自動ドアがスムーズな開閉動作をしない場合や、ガイドレールやエンジン部からいつもと違う音がするなど異常を感じた場合は、「故障かなと思ったら」(14 ページ)を参照して症状を確認して処置をしてください。
処置をしても異常が解消しないときは、電源を切り、販売店または施工店にご連絡ください。

日常のご使用について


正しく安全にご使用いただくために、以下の場合の通行には注意が必要です。
センサーの検出範囲に物を放置したり、長く開放させたりすると誤作動の原因になります。

■事故につながる危険な行為

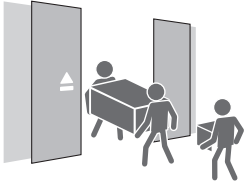
駆け込みによる衝突	戸袋側進入による衝突	立ち止まりによる挟まれ
 <p>閉じ途中または開き途中の自動ドアに駆け込まないでください。 自動ドアに衝突するとけがの原因になります。</p>	 <p>子どもなどを自動ドアの戸袋側で遊ばせないでください。 開いてきた自動ドアに衝突するとけがの原因になります。</p>	 <p>自動ドア走行部で立ち止まらないでください。 閉じてきた自動ドアに挟まれるとけがの原因になります。</p>

斜め進入による接触	引き込まれ
 <p>閉じ途中の自動ドアに斜めから進入しないでください。 自動ドアのセンサーが反応して開くよう反転しても開ききらずに接触するとけがの原因になります。</p>	 <p>自動ドアと方位の間に手などを入れないでください。 自動ドアが開いて間に挟まれるとけがの原因になります。</p>


■センサー検出範囲内に物を放置しないでください

状態	事象	処置
	<p>「自然にドアが開いた」、「ドアが開いたまま閉まらない」などの原因になります。</p>	<p>各種センサーの検出範囲には植木鉢や傘立てなど検出される物は置かないでください。 また、ドアに当たった物にぶつかりけがをする原因になりますので、ドア付近に物は置かないでください。 •「安全のために必ず守ること」(2 ページ) 参照</p>

■ドアを長時間にわたり開放する場合

状態	事象	処置
	<p>荷物の搬入や搬出などで長時間、ドアを開放していると、誤動作の原因になります。</p>	<p>長時間の開放が必要な場合は、必ず自動ドアの電源を切ってください。 •「電源スイッチの切り方」(8 ページ) を参照</p>

■外風が強い場合は電源をお切りください

状態	事象	処置
	<p>強風※に押され、ドアが誤動作で反転してドアが開いてしまう原因になります。 ※「強風」とは風速10m/s以上とします。</p>	<p>外風が強い場合は、強い風がおさまるまでいったん電源を切り、強い風がおさまってから電源を入れて使用を再開してください。 •「電源スイッチの切り方」「電源スイッチの入れ方」(8 ページ) 参照</p>





故障かなと思ったら

- 自動ドアがスムーズな開閉動作をしない場合や、ガイドレールやエンジン部からいつもと違う音がするなど異常を感じた場合は、「故障かなと思ったら」(14 ページ) を参照して症状を確認して処置をしてください。
処置をしても異常が解消しないときは、電源を切り、販売店または施工店にご連絡ください。



お手入れ

安全にご使用いただくために、1～2カ月に1回程度のお手入れをお願いします。
また、不測の故障にならないために、販売店または施工店による定期的な点検をお願いします。

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">エンジンケースとエンジンカバーとのすき間に棒や金属などを差し込まない。 感電・けがの原因になります。	 分解禁止	<ul style="list-style-type: none">機器の改造はしない。 感電・けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">エンジンカバーを開けない。 感電・けがの原因になります。		
 水かけ禁止	<ul style="list-style-type: none">エンジン部に水をかけない。 感電・けがの原因になります。	 指示に従う	<ul style="list-style-type: none">お手入れの際は必ず電源を切る。 感電・けがの原因になります。

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">ガイドレールに指を入れない。 けがの原因になります。	 指示に従う	<ul style="list-style-type: none">お手入れの際は手袋を着用する。 けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">お手入れの際は不安定な台の上に乗らない。 転倒によるけがの原因になります。 ※手が届かない場合は脚立を使ってください。		

【お願い】 サッシの材質にあわせ、お手入れを行ってください。以下の材質は、サッシの一例です。

材質	お願い
ステンレス・スチール・ アルミサッシ・ガラス	<ul style="list-style-type: none">中性洗剤を使用してください。酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤やベンジン・シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。 (表面材の腐食や塗装のはがれの原因になります)お手入れにカッターナイフやワイヤーブラシ、サンドペーパーは使用しないでください。 (傷の原因になります)

お手入れを始める前に

- 電源スイッチを「切」にしてください。
- 次ページを参照しお手入れを行ってください。
- お手入れ後は、ドアの周囲に異常がないか、人や物がなく安全であることを確認してから電源スイッチを「入」にしてください。
- 「電源スイッチの入れ方」(8ページ)を参照し、ドアが正常に開閉すること、補助センサーが正常に検出することを確認してください。

【お願い】

- お手入れ後、自動ドアの開閉に異常が見つかったときは、電源スイッチを「切」にして運転を停止してください。
- 自動ドアの電源を入切する際は、壁面などに設置されている自動ドア用の電源スイッチを操作してください。
ただし、電源スイッチが設置されていない場合は、以下の注意事項に沿ってメンテナンス用電源スイッチを操作してください。

メンテナンス用電源スイッチについて

- メンテナンス用電源スイッチを操作する場合は、ドア付近に利用するかたがいないか十分に注意し、動くドアに注意して操作してください。
(操作中にドアが動くとけがの原因になります)
- メンテナンス用電源スイッチを操作した後は、必ず「入」にし、自動ドアが正しく動くことを確認してください。

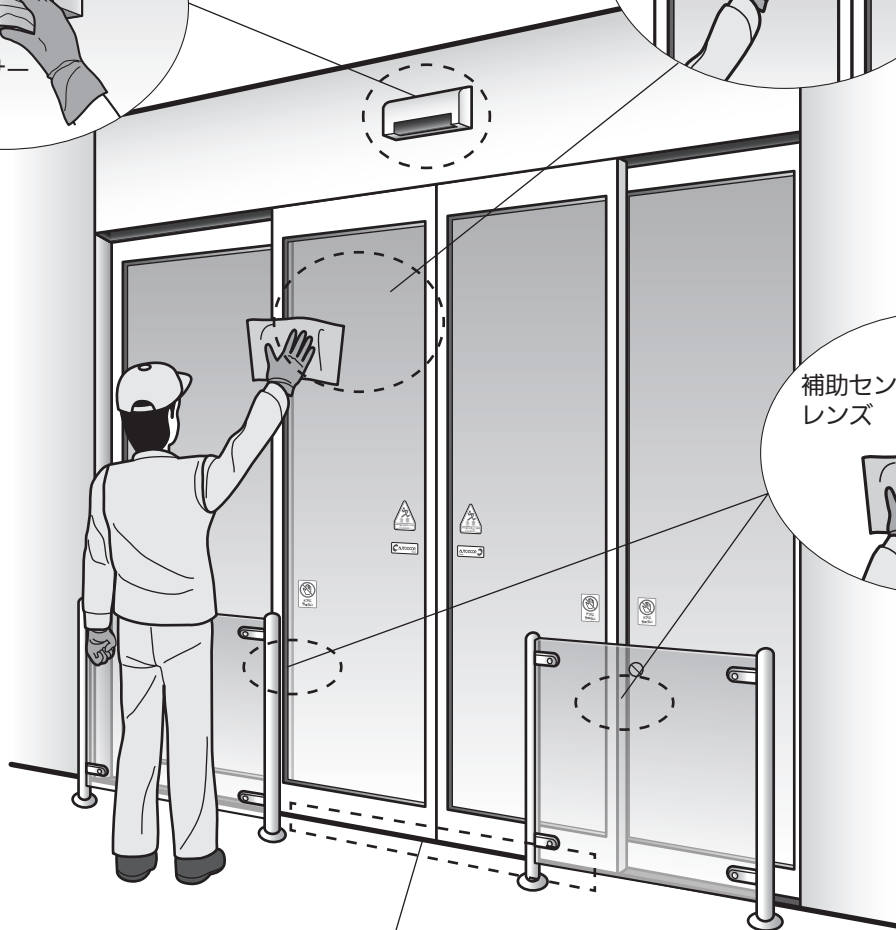
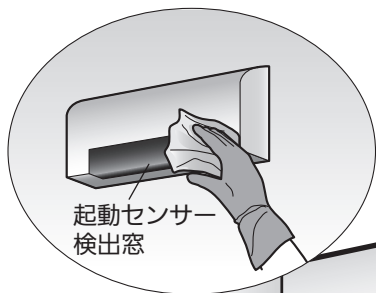
■ サッシ、ガラス部

表面は水かぬるま湯に浸した布をかたく絞って拭き、拭いた後は乾いた布で水分が残らないよう十分に拭き取ってください。汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を使用し、中性洗剤が残らないよう水拭き後、乾いた布で十分に拭き取ってください。



■ センサー部

傷がつかないように、やわらかい布で拭いてください。センサーレンズは汚れが残らないよう丁寧に拭いてください。汚れていると感度が悪くなり、ドアが正常に動かない原因になります。



■ ガイドレール

ガイドレールのごみや小石などの障害物は、ほうきや掃除機で取り除いてください。




ガイドレール

故障かなと思ったら

修理をご依頼される前に、以下の内容をご確認ください。ご確認ください点検・処置を行ってもなおらない場合は、事故防止のため運転を停止して電源スイッチを切り、お買い上げの販売店または施工店へご連絡ください。


⚠ 警告



禁止

- エンジンカバーを開けない。
感電・けがの原因になります。

⚠ 注意



指示に従う

- 機器の調整は販売店または施工店に依頼する。
けがの原因になります。

症状	原因	処置	参照
動かない	自動ドア用の電源スイッチが切れていませんか？	電源スイッチを入れてください。	8 ページ
	鍵（錠前）がかかっていますか？	鍵（錠前）をあけてください。	8 ページ
	ドア開閉に障害となる物はありませんか？	障害となる物を取り除いてください。	12 ページ
開いたまま閉まらない 開き始めが遅い	センサーが物体を検出し続けていませんか？	ドア付近の検出物を取り除いてください。	8 ページ
	起動センサーや補助センサーが汚れていませんか？	起動センサーの検出窓や補助センサーのレンズを清掃してください。	12 ページ
	補助センサーがごみや雪などでふさがれていませんか？	清掃して付着物を取り除いてください。	12 ページ
閉まりきらない ドアが閉まりきらずにまた開いてしまう	ドア開閉に障害となる物はありませんか？	障害となる物を取り除いてください。	8 ページ
	ガイドレールにごみや小石などの異物が入っていませんか？	清掃して異物を取り除いてください。	12 ページ
	鍵（錠前）が施錠されて（下りて）いませんか？	鍵（錠前）を解錠して（上げて）ください。	8 ページ
	センサーが物体を検出し続けていませんか？	ドア付近の検出物を取り除いてください。	8 ページ
	ドアが閉まる途中で障害物はありませんか？	障害となる物を取り除いてください。	8 ページ
	外風が強く吹いていませんか？	強い風圧に押されています。風がおさまるまでドアを閉じて電源を切ってください。	8 ページ
鍵（錠前）が かかりにくい/かからない	鍵穴に異物がつまっていますか？	清掃して異物を取り除いてください。	12 ページ
	鍵の山がすり減っていませんか？	販売店または施工店に鍵（錠前）の交換をご相談ください。	裏表紙
ドアの開き始めが 速い/遅い ドアの閉じ始めが 速い/遅い 開く速さや閉まる速さが 速い/遅い 開いている時間が 短い/長い 開く間隔がせまい/広い		自動ドアの機能・設定に関しては、通行者の安全性の向上を目的に「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセット—安全性」および「スライド式自動ドア安全ガイドライン」（4 ページ）を基準に調整・設定しています。 自動ドアの調整や設定の詳細、内容の変更につきましては、販売店または施工店にご依頼ください。	
ドアが開閉するとガイド レールまたはエンジン部 から異音がある	ガイドレールにごみや小石などの異物が入っていませんか？	清掃して異物を取り除いてください。	12 ページ
	エンジン部から異音がある場合は、	電源スイッチを切って（8 ページ）から販売店または施工店にご連絡ください。	裏表紙

上記の確認と処置を行っても正常に動かないとき、あるいは上記以外の症状のときは、電源スイッチを切って（8 ページ）から販売店または施工店にご連絡ください。

お客様へのお願い

日常使われる自動ドアは、通行者の安全性の向上を目的に、常に良好な状態を維持していただくことをお願いします。

■ ご使用になる通行者の安全管理

- 自動ドアには、自動ドアであること、開く方向を示す掲示（シールなど）を行ってください。
- 「駆け込み」や自動ドアでの「立ち止まり」などに対して、注意を促す掲示（シールなど）を行ってください。
- 戸袋側の「挟まれ」や「引き込まれ」を注意する警告表示を行ってください。

■ シールの例



■ 自動ドアの安全管理

- 取扱説明書に従い、使用されるように管理してください。
- 特に「安全のために必ず守ること」（2 ページ）はよくお読みになり、正しく安全なご使用をお願いします。

■ お手入れ・定期点検

- 自動ドアを安全にご使用いただくため、日常のお手入れ（12 ページ）を行ってください。
- 不測の故障にならないために、販売店または施工店による定期的な点検（16 ページ）を受けてください。

■ 自動ドアの調整・設定の変更は、販売店または施工店にご依頼ください

- お客様ご自身での自動ドアの調整や設定の変更は絶対に行わないでください。自動ドア装置の性能が十分に発揮できないばかりか、機器の故障や感電などによるけがをすることがあります。
- 自動ドアの調整や設定の変更は、専門の知識をもった技術者が行います。巻末記載またはメンテナンス連絡先ステッカー（5 ページ）の販売店または施工店までご連絡ください。
- ご依頼に際し、自動ドアの形名や形番などの情報を、保証書にてご確認願います。

<自動ドア機能一覧>

機能名	内容	備考
開き速度	500mm/秒以下	高齢者、障がい者、子どもなどが多く利用する場合は、400mm/秒以下に設定します。
閉じ速度	350mm/秒以下	高齢者、障がい者、子どもなどが多く利用する場合は、250mm/秒以下に設定します。
開放タイマー	1～5秒	高齢者、障がい者、子どもなどが多く利用する場合は、可能な限り開いている時間を長く設定します。
反転機能	調整可能	ドアが障害物に当たると反転する機能で、当たる感度が調節できます。ただし、感度を上げるとビル風など強い風で反応する場合があります。

保証とアフターサービス

保証書は、必ず「販売店または施工店名」と「お取付日」の記入をご確認の上、大切に保管してください。

保証について

■ 保証期間

保証期間はお引き渡し日より1年間です

■ 保証範囲

1. 保証期間内に正常な使用状態において、万一故障した場合は、販売店または施工店にご連絡ください。アフターサービス係員に保証書をご提示ください。
2. 以下の場合は、保証期間内でも有償修理となります。
 - (イ) 誤った使用、用途による故障並びに不当な修理や改造による故障、又は取付引渡後の設置場所の移動によって生じた故障、あるいは損傷。
 - (ロ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、並びに漏水、塩害、ガス害、異常電圧等の外部要因による故障、あるいは損傷。
 - (ハ) その他(ロ)に準ずるもの。
 - (ニ) 保証書の所定事項の未記入あるいは字句を書きかえられている。
 - (ホ) 保証期間が過ぎている。
 - (ヘ) 保証書のご提示がない。
3. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

アフターサービスについて

自動ドアは、安全管理の必要性が高く、日頃のお手入れに加え、販売店または施工店による定期的な点検が必要です。

寺岡オートドアグループの販売施工ネットワークの各拠点ではアフターサービスの万全を期するため、保守契約制度を設けております。

経年劣化による機能低下、不測の故障を未然に防ぐため、『保守契約制度』のご加入をお奨めします。

■ 保守契約制度

- 自動ドアの設置場所へ、定期的に技術者が伺い、状態の把握・点検・消耗品の確認と交換など機器の整備を行います。
- 部品の消耗・劣化状態が把握できるため、整備・交換により不測の故障を防止します。
- ご契約いただくと、万一の故障の際には優先的に対応させていただきます。
- 保守契約には『施設賠償責任保険』*が付保されます。
※『施設賠償責任保険』とは「第三者に対して身体、または財物の損害賠償」が発生した場合に適用される保険です。
- 『保守契約制度』のお問い合わせ、お申し込みは販売店または施工店にご相談ください。

総発売元

寺岡オートドア株式会社

〒146-0083 東京都大田区千鳥3丁目19番3号

<http://www.teraoka-autodoor.co.jp>

販売施工店